

# 海東小学校だより

第8号

令和8年 2月13日  
宇城市立海東小学校  
発行 校長 中村

## 創立150周年記念事業① たいへんお世話になりました

宇城市立海東小学校は、本年創立百五十周年という大きな節目を迎えました。明治の開校以来、幾多の時代を越えて本校が歩みを進めてこられましたのは、地域の皆様の温かいご支援と、先人の皆様が築いてこられた確かな伝統のおかげにほかなりません。記念事業においては、期成会の皆様をはじめ、保護者・地域の皆様から多大なるご協力を賜り、体育館の緞帳寄贈や百五十周年記念碑設置等、節目の年を彩る数々の取組が実現いたしました。心より感謝申し上げます。

### △創立150周年記念式典△ ~愛郷心深まる式典でした~

1月24日記念式典が、末松宇城市長様、吉田県議会議員様をはじめとしたご来賓の皆様、地域・保護者の皆様に参加いただき盛大に行われました。式典当日は厳寒の中でしたが、多数の参加をいただき記念式典に花を添えていただきましたことに、改めて海東地域の皆様のすばらしさを感じました。ありがとうございました。

式典では、本校6年生が「未来をつくろう～海東の魅力発信」というテーマで、総合的な学習でふるさと海東について学んだことを発表しました。また、松本和良先生から「季長公が残したもの」の演題で、元寇や季長公について講演いただきました。元寇から750年にあたる今年、6年生は秋に「元寇縁の子どもサミット」で発表したことをもとに、ふるさと海東のために自分たちで考え取り組んだことを発表しました。松本先生の講演では、元寇から季長公の功績と海東地域の発展について、海東愛たっぷりにご講演いただきました。6年生の感想を紹介します。



○創立150周年記念式典を振り返って、私はまず児童代表として式典に参加することができ、ステージ上で自分達らしい発表ができる、とてもいい経験になって良かったです。少しきんちゅうしたけど堂々とした発表ときちんとした態度で話を聞くことができ、いい思い出になりました。(6年 竹村環花)  
○1月24日の式典では、お話を聞かせてくれてありがとうございました。松本先生の話を聞いて、なぜモンゴルは日本に攻めてきたのか分かりました。他にも季長公がいちばん大切にしてきた神社が、わなんざこにある海東阿蘇神社ということも分かりました。これから松本先生がお話をされたことを忘れず、季長公のこと大切にしていきたいです。(6年 吉澤勝之真)

### △全校集会「世代間ディスカッション」①△ ~これまでの海東について考えることができました~

記念式典には6年生のみの参加でしたので、全校児童と地域の皆様でふるさと海東について考える機会として、記念式典終了後に全校集会「世代間ディスカッション」を行いました。前半を「これまでの海東」について考える時間とし、各世代代表の方3名(60歳代:前田至誠さん(昭和51年3月卒業)、40歳代:竹村宜隆さん(平成7年3月卒業)、20歳代:藤岡蓮さん(平成29年3月卒業))と児童代表4名(企画委員会)をパネラーに迎え、小学校当時の様子を話していただきました。前田さんからは50年ほど前の小学校の様子等を、竹村さんからはたくさん遊んで楽しかった思い出等を、藤岡さんからは小学校の時の経験が今に役立っていること等をお話しいただきました。在校生からは、今の海東小の様子を紹介しました。3名のパネラーの方のみならず、地域の皆様からも発言いただきありがとうございました。以前は全校児童が600名程いたという情報には、子ども達もたいへん驚いていたようでした。これまでの海東のことを知る機会となりました。

